

利用者の願いに応える 豊かな援助実践を築き上げるために



「21・老福連」参加施設のみなさん
全国の老人福祉施設関係者のみなさん



私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称:21・老福連)は、老人福祉の新しい施設連絡会組織として、2002年6月に発足いたしました。

発足にあたって、①介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立をめざすとともに、真の高齢者福祉、介護保障のあり方について実践も含めた意見交換を活発に行う ②高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する ③老人福祉の向上をめざす活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し、積極的に進める これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

来年は介護保険制度改定の年です。この間、改定のたびに利用者・家族の負担は増え、施設にとっては報酬カットで経営は苦しくなる一方です。こうした中、福祉で働く職員の就労環境は悪化し、「将来に希望を持ってない」と、離職者が相次ぎ、人材確保の困難な状況は全国的に深刻化しています。

21・老福連は、来年度の介護報酬改定にむけて、福祉に働く職員が、誇りと希望をもって働けるため、人員配置と賃金水準の改善を求め、6万4千余の署名を厚生労働大臣に提出するなどの諸活動に取り組んできました。

また、日々の援助実践を確かめ、より良いものにするために、毎年職員研究交流集会を開催してきました。昨年は富山市を会場に、延べ425名の参加と107本におよぶ実践報告がされ、多いに学びあい、交流を深めました。

今年の職員研究交流集会の開催地は大阪で、「じっくり語ろう ほんまもの福祉 ～持ちよう援助実践 たしかめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を～」をテーマに開催します。全国各地の豊かな援助実践を大阪に持ちより、大いに学び交流を深めましょう。職員、関係者のみなさまの積極的な参加をお待ちしています。

● 日時

2008年11月29日(土) 13:00～17:00(交流会 19:30～)
11月30日(日) 9:00～17:00
12月 1日(月) 9:00～12:00

● 会場

全体会・分科会 ホテルコスモスクエア国際交流センター
交流会 ホテル大阪ベイタワー

● 参加費

3日間参加 10,000円 2日間 9,000円 1日間 8,500円
宿泊(メイン会場内・1泊朝食つき/ツイン)8,400円 交流会8,500円
● シングルの室数には限りがございます。先着順となりますので申込はお早めに願います。
詳細は名鉄観光のご案内用紙をご覧ください

● 主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称=21・老福連)
TEL 075-494-1115 FAX 075-494-1135 E-mail roufuku@siren.ocn.ne.jp
● お問い合わせ先 < 現地実行委員会事務局 >
社会福祉法人こばと会 高齢者向け優良賃貸住宅さくら苑(担当:正森)
TEL 06-4864-2266 FAX 06-4864-2212 E-mail info@kobatokai.jp

● 申込方法

別紙、名鉄観光からのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにて名鉄観光にお申込ください。

◆◆◆参加申込〆切は9月19日(金)です◆◆◆

※集会2日目の分科会における「演題発表」の受付は老福連事務局となります。お間違いないよう、別紙「演題募集」の用紙をご確認ください。

※集会開催の約1ヶ月前には、名鉄観光より請求書とともに参加券が発送されます。

※宿泊場所は、メイン会場となる「ホテルコスモスクエア国際交流センター」をご案内しております。
シングル等、客室数に限りがございますので、お早めにお申込みください。



集会テーマ

じっくり語ろう、ほんまもんの福祉

～持ちよう援助実践 たしかめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を～



目的

来年は介護保険制度の改定の年です。この間の改定は、利用者へのサービスが抑制され、事業者への報酬はカットされ、高齢者はもちろん、福祉に働く職員にとっても将来に不安が広がるものとなっています。

今回の職員研究交流集会では、そんな中でも思いとこだわりをもってとりにくんでいる福祉の援助実践を交流し、薄れがちな公的福祉のあり方を問いながら「ほんまもんの福祉」をじっくり語り合える集会にしたいと思います。



プログラム

1日目

11月29日(土)

< 全体会 >

ホテルコスモスクエア国際交流センター

12:30～	受付開始
13:00～13:20	オープニング 和太鼓『鼓粋』演奏 (障害児施設:豊里学園 和太鼓チーム)
13:20～13:30	開会の挨拶・来賓からの挨拶
13:30～14:15	21・老福連からの基調報告
14:25～15:55	● 記念講演『福祉にとどかない声』 —記者の目から見た、福祉— 講師 向井 康 氏(京都新聞社 社会報道局市民担当部長)
16:10～16:55	● リレー報告 わたしたちの願い、今伝えたいこと 生活保護・障がい者・子ども・高齢者とそれぞれの分野の当事者・家族・職員が贈るあついメッセージ ●生活保護 大阪生活と健康を守る会 ●障がい者 障害者(児)を守る全大阪連絡協議会 ●児 童 ※調整中 ●高 齢 者 介護福祉施設利用者家族会
16:55～17:00	事務連絡・1日目終了

< 交流会 >

ホテル大阪ベイタワー

19:00～21:00	毎年恒例となった交流会！今年も手づくりで現地の職員さんがみなさんを歓迎します！！ なんといっても今年が目玉は、“今夜決定！21・老福連のスターはあなただ！”との呼びかけ ではじまる<演芸コンクールIN大阪>。みなさんで大いに盛り上げてください！ もちろん、全国の参加者から持ち寄られた「地酒」にも乞うご期待！
-------------	---

2日目

11月30日(日)

< 分科会 >

ホテルコスモスクエア国際交流センター

9:30～17:00	11分科会、20会場(予定)で繰り広げられるアツイ議論！（詳細は次々ページより）
------------	--

3日目

12月1日(月)

< 全体会 >

ホテルコスモスクエア国際交流センター

9:00～	3日目開始
9:00～9:30	● スライドでつづる 熱い大阪集会 大阪集会の熱気をスライドと参加者スピーチでつづります
9:30～11:30	● 踊る福祉御殿 「言いたい！聞きたい！」 —好きやねん 福祉の仕事— 繰り出される「お題」、参加者とゲストコメンテーターを交えての立体的討論会 ●ゲストコメンテーター:21老福連幹事 中堅介護職員 研究者
11:30～11:45	今回の集会のまとめ
11:45～12:00	次回開催地よりあいさつ 実行委員長あいさつ 終了



一日全体会 ～ 11月29日 ～

こころウキウキ 弾むよドンドコ!

●子どもたちによる歓迎の太鼓でお迎え!

障害児施設・豊里学園の子どもたちと援助者による和太鼓の響きでお迎えます。チームは『鼓粹』(KOIKI) 全国障害者大会に連続出場を果たすなど、その実力は定評です。



●特別講演 『福祉にとどかない声』 —記者の目から見た福祉—



講師 向井 康氏

(京都新聞社社会報道局市民担当部長)

講師プロフィール：京都市生まれ。1980年京都新聞社入社。社会部、企画報道部、滋賀本社などを経て、現職。阪神大震災における京都、神戸両新聞社の合同連載「生きる」で新聞協会(グループ受賞) 2006年 医療と福祉の冷たい谷間を取材した「折れない葦」取材班で新聞協会賞を受賞。

●リレー報告 『わたしたちのねがい、今つたえたいこと』

生活保護・障害者・子ども・高齢者とそれぞれの分野の当事者、家族がおくる職員へのあついメッセージ!!

- ◆大阪生活と健康を守る会
 - ◆障害者(児)を守る全大阪連絡協議会
 - ◆児童分野 ※調整中
 - ◆介護福祉施設利用者家族会
- それぞれの分野からご報告いただきます



三日全体会 ～ 12月1日 ～

●スライドでつづる熱い大阪集会

大阪集会の熱気をスライドと参加者スピーチでつづります

●踊る福祉御殿! 「言いたい! 聞きたい」 —好きやねん 福祉の仕事—

あの一言で……、納得できるケアって、働きつづけることへの不安、仕事の魅力、etc……くりだされる「お題」に、参加者とゲストの意見も入れながら討論をすすめます。

- ゲストコメンテーター 21老福連幹事 中堅介護職員 研究者